

令和7年9月19日

千葉県農林総合研究センター長

I 向こう1か月間の予報

発生量及び発生時期は平年との比較で表す。予想発生量は「多」「やや多」「並」「やや少」「少」で表している。予報の根拠の（＋）は多発要因、（－）は少発要因であることを示す。また、【 】内の数値は左側が8月下旬～9月上旬の発生予察調査のデータ、右側が平年値（過去10年の平均値）を示す。

なお、「並」とは平年値を中心にして40%の度数に入る幅、「やや多」「やや少」は「並」の外側20%の度数に入る幅、「多」「少」は上記3者の外側10%の度数に入る幅である。

また、下表の病害虫を防除する場合は、「千葉県総合防除計画」の該当ページ（※）の「総合防除の内容」を参照するとともに、3ページの「2 個々の病害虫に関する防除上の注意事項」も参考とすること。

千葉県総合防除計画（令和6年3月版）



作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠 (8月下旬～9月上旬の発生予察結果及び気象予報等)	※
サツマイモ	ナカジロシタバ	多	寄生幼虫数：やや多【1.40頭/0.67頭】（＋） 気象予報：気温高（＋）降水量並	22
	イモキバガ	並	寄生幼虫数：並【0.60頭/0.99頭】 被害葉率：少【2.00%/6.73%】（－） 気象予報：気温高（＋）降水量並	－
夏秋トマト	すすかび病	やや少	発病株率：やや少【2.00%/9.47%】（－） 気象予報：降水量並 日照時間並	31
	アザミウマ類	やや少	成幼虫寄生株率：やや少【0.00%/4.61%】（－） 気象予報：降水量並 日照時間並	32
	黄化葉巻病	やや多	発病株率：やや多【3.30%/2.98%】（＋） タバココナジラミ成虫寄生株率：並【6.40%/9.42%】	31
	タバココナジラミ	並	成虫寄生株率：並【6.40%/9.42%】 気象予報：降水量並 日照時間並	33
	オンシツコナジラミ	並	成虫寄生株率：並【4.00%/9.19%】 気象予報：降水量並 日照時間並	33
秋冬ネギ	黒斑病	やや少	発病度：やや少【0.00/1.38】（－） 気象予報：気温高（＋）降水量並 日照時間並	33
	ネギアザミウマ	並	成幼虫寄生株率：やや少【23.60%/33.22%】（－） 気象予報：気温高（＋）降水量並	34
	ネギハモグリバエ	並	被害度：やや少【1.50/6.90】（－） 気象予報：気温高（＋）降水量並	35
	シロイチモジヨトウ	多	8月フェロモントラップ誘殺数：多【7.20頭/2.31頭】（＋） 被害株率：やや多【9.60%/1.80%】（＋） 気象予報：気温高（＋）降水量並	46

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠 (8月下旬～9月上旬の発生予察結果及び気象予報等)	※
野菜・花き共通	コナガ	並	8月フェロモントラップ誘殺数：並【0.10頭/0.28頭】 気象予報：気温高（＋）降水量並	45
	ハスモンヨトウ	やや多	8月フェロモントラップ誘殺数：やや多【15.36頭/11.87頭】（＋） 100葉当たり寄生幼虫数（サツマイモ） ：やや多【0.20頭/0.14頭】（＋） 被害株率（秋冬ネギ）：並【0.00%/0.04%】 幼虫寄生株率（サトイモ）：やや多【22.61%/9.12%】（＋） 〃（夏秋トマト）：並【0.00%/0.04%】 気象予報：気温高（＋）降水量並	46
	オオタバコガ	多	8月フェロモントラップ誘殺数 ：やや多【4.10頭/2.92頭】（＋） 気象予報：気温高（＋）降水量並	45
温州ミカン	ミカンハダニ	やや多	成虫寄生葉率：並【1.60%/3.99%】 気象予報：気温高（＋）降水量並	28
	カメムシ類	並	被害果率：並【0.00%/0.00%】 8月予察灯誘殺数：並【27.1頭/45.0頭】 8月フェロモントラップ誘殺数：並【1.57頭/7.02頭】 気象予報：気温高（＋）降水量並	28

* 1 フェロモントラップ誘殺数：1日当たりの誘殺数

* 2 予察灯誘殺数：1か月30日当たりの誘殺数

1 防除に関する措置（共通）

- (1) 病害虫は早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。
- (2) 発病株及び罹病部位は、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。
- (3) 害虫の薬剤抵抗性の発達や耐性菌の発生を防ぐため、同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
- (4) 病害虫の発生を予防するため、温湿度管理、防虫網の設置、周辺雑草の除草、輪作や緑肥作物の栽培等の耕種的防除及び物理的防除に努める。

2 個々の病害虫に関する防除上の注意事項

- (1) 黄化葉巻病・コナジラミ類（夏秋トマト）
令和6年度病害虫発生予察注意報第5号「トマト黄化葉巻病の発生に注意」も参照する。
- (2) シロイチモジヨトウ（秋冬ネギ）
令和7年度病害虫発生予察注意報第3号「シロイチモジヨトウによるネギの食害に注意」も参照する。
- (3) ハスモンヨトウ（野菜・花き共通）
令和6年度病害虫発生予報第7号P4～5「これから注意を要する病害虫」も参照する。
- (4) オオタバコガ（野菜・花き共通）
令和7年度病害虫発生予察注意報第2号「オオタバコガの多発生に注意」も参照する。



Ⅱ これから注意を要する病害虫

ナシ黒星病 ～秋季防除について～

ナシ黒星病は、りん片、新梢、葉、葉柄、果実に黒いすす状の病斑を生じる病害である。感染すると落葉や裂果・落果を引き起こし、収量が減少する。秋型病斑（写真1）は葉裏に形成され、病斑上の分生子が10～11月の降雨により枝を伝い芽のりん片に感染する。その後、病原菌は越冬し、罹病した葉や腋花芽が翌春の第一次伝染源となり、感染好適期間に降雨で感染を広げる。

令和7年の巡回調査結果（4月から8月）は、発病葉率、発病果率ともに平年並から少ない傾向であった（図1、図2）。

また、8月19日に発表された気象庁の3か月予報（関東甲信地方）では、気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並の見込みとなっており、10月の降水量は平年並が多い見込みである。このことから、感染に好適な環境になる可能性が高いと考えられる。

黒星病の菌密度が高くなるほど、被害が深刻化し、薬剤の効果を得にくくなるため、秋季防除を徹底し翌春の伝染源を減らすことが重要である。



写真1 葉に形成された秋型病斑



写真2 芽基部にできた病斑

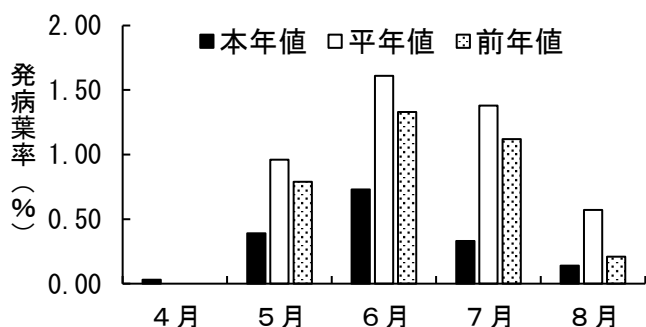


図1 ナシ黒星病の発病葉率（県内33地点の平均）

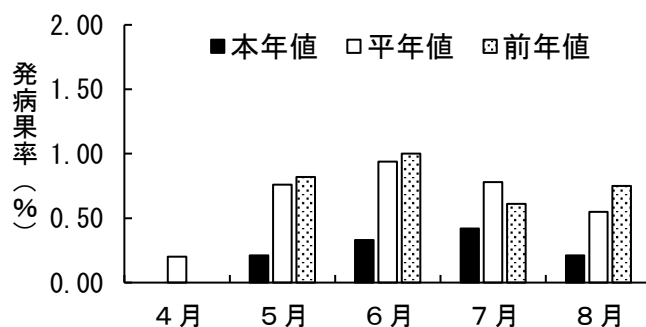


図2 ナシ黒星病の発病果率（県内33地点の平均）

<防除対策>

- 1 落葉は伝染源となるため、集めて園外に埋却するか粉碎、すき込みなど適切に処分する。
また、徒長枝にある芽基部（写真2）も伝染源となるため、剪定枝も園外で適切に処分する。
- 2 収穫後～落葉期にオキシラン水和剤（500～600倍）を散布する。

2回散布の場合は10月下旬と11月上旬、3回散布の場合は10月中旬、10月下旬、11月上旬に散布する。黒星病多発園では、薬剤散布を収穫後から開始し、落葉期までに3回の散布を行う。落葉が遅い年には、落葉期（80%程度が自然落葉したとき）に最終の散布を行う。

この時期の防除は、翌年の伝染源となる芽基部病斑を防ぐために極めて重要である。

注 農薬の使用に当たっては、最新の農薬登録内容を確認し、製品ラベルに記載された使用基準等を守り適正に使用する。

参考資料

○主要病害虫の発生状況

巡回調査結果（水稻・果樹・夏秋トマト：8月下旬、サツマイモ・ラッカセイ・秋冬ネギ・サトイモ：9月上旬）

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
イネ (県内全域)	いもち病(穂いもち)	発病穂率(%)	0.07	0.07	0.01	
	紋枯病	発病度	3.60	2.68	4.50	
	縞葉枯病	発病株率(%)	1.12	0.93	0.69	
	ごま葉枯病	発病株率(%)	24.76	13.37	15.37	
	稲こうじ病	発病株率(%)	0.00	0.26	0.00	
	イネクロカメムシ	25株当たり寄生成幼虫数	1.22	0.47	2.23	
	ニカメイガ	被害株率(%)	0.94	0.06	0.11	
	イチモンジセセリ	25株当たり被害苞数	0.00	0.00	0.00	
	コブノメイガ	上位2葉被害株率(%)	0.00	0.10	0.00	
	セジロウンカ	20回振りすくい取り捕獲成幼虫数	0.38	2.50	0.91	
	トビイロウンカ	20回振りすくい取り捕獲成幼虫数	0.00	0.00	0.00	
	ヒメトビウンカ	20回振りすくい取り捕獲成幼虫数	59.84	31.38	27.90	
	ツマグロヨコバイ	20回振りすくい取り捕獲成幼虫数	52.44	109.80	134.99	
	クモヘリカメムシ	20回振りすくい取り捕獲成幼虫数	1.29	0.92	0.41	
	ホソハリカメムシ	20回振りすくい取り捕獲成幼虫数	1.00	0.21	0.34	
	イネカメムシ	20回振りすくい取り捕獲成幼虫数	0.46	0.31	0.77	
	シラホシカメムシ類	20回振りすくい取り捕獲成幼虫数	0.04	0.05	0.04	
	ミナミアオカメムシ	20回振りすくい取り捕獲成幼虫数	0.13	0.02	0.06	
	アカヒゲホソドリカスミカメ	20回振りすくい取り捕獲成幼虫数	0.01	0.03	0.03	
	アカスジカスミカメ	20回振りすくい取り捕獲成幼虫数	0.32	0.55	0.59	
サツマイモ (印旛、香取)	ハスモンヨトウ	100葉当たり寄生幼虫数	0.20	0.14	0.60	
	ナカジロシタバ	100葉当たり寄生幼虫数	1.40	0.67	0.20	
	イモキバガ	100葉当たり寄生幼虫数	0.60	0.99	0.20	
		被害葉率(%)	2.00	6.73	7.60	
ラッカセイ (千葉、印旛、君津)	そうか病	発病度	0.00	0.01	0.00	
	褐斑病	発病度	16.11	25.42	23.70	
	黒渋病	発病度	0.11	0.30	0.00	
	白絹病	発病株率(%)	2.89	2.81	4.50	
夏秋トマト (印旛、山武)	灰色かび病	発病株率(%)	0.00	0.18	0.00	
		発病果率(%)	0.00	0.00	0.00	
		果実発病度	0.00	0.00	0.00	
	すすかび病	発病株率(%)	2.00	9.47	17.20	
	黄化葉巻病	発病株率(%)	3.30	2.98	16.20	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率(%)	0.00	0.04	0.40	
	タバコガ類	幼虫寄生株率(%)	0.00	0.24	0.80	
	オンシツコナジラミ	成虫寄生株率(%)	4.00	9.19	2.00	
	タバココナジラミ	成虫寄生株率(%)	6.40	9.42	46.80	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率(%)	0.00	0.04	0.00	
	ハモグリバエ類	幼虫寄生株率(%)	0.40	0.83	0.00	
	アザミウマ類	成幼虫寄生株率(%)	0.00	4.61	0.00	
秋冬ネギ (山武、長生)	黒斑病	発病度	0.00	1.38	0.00	
	さび病	発病度	0.00	0.00	0.00	
	べと病	発病株率(%)	0.00	0.04	0.00	
	ネギアザミウマ	被害度	24.20	24.71	11.00	
		成幼虫寄生株率(%)	23.60	33.22	5.60	
	ハスモンヨトウ	被害株率(%)	0.00	0.04	0.00	
	シロイチモジヨトウ	被害株率(%)	9.60	1.80	14.00	
	ネギコガ	被害株率(%)	0.00	0.24	0.00	
	ネギハモグリバエ	被害度	1.50	6.90	0.50	
サトイモ (山武、印旛、君津)	疫病	発生程度	1.79	19.17	20.59	
	汚斑病	発病葉率(%)	12.53	13.59	11.14	
	アブラムシ類	成幼虫寄生程度	6.76	12.22	11.15	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率(%)	22.61	9.12	32.00	
	ハダニ類	成虫寄生程度	10.53	10.57	4.10	
ナシ (県内全域)	黒星病	発病葉率(%)	0.12	0.57	0.21	
	ハマキムシ類	被害葉率(%)	0.00	0.06	0.06	
	ハダニ類	成虫寄生葉率(%)	1.33	2.09	2.52	
	アブラムシ類	成幼虫寄生新梢率(%)	0.45	0.34	0.64	
	吸ガ類	被害果率(%)	0.07	0.09	0.08	
	カメムシ類	被害果率(%)	0.36	0.24	0.92	

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
温州ミカン (安房)	そうか病	果実発病度	0.28	0.22	0.28	
	かいよう病	果実発病度	0.00	0.00	0.00	
	黒点病	果実発病度	0.00	0.09	0.00	
	カメムシ類	被害果率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	ヤノネカイガラムシ	成幼虫寄生葉率 (%)	0.00	0.02	0.00	
	ミカンハダニ	成虫寄生葉率 (%)	1.60	3.99	8.20	
	アブラムシ類	成幼虫寄生新梢率 (%)	0.00	0.60	0.00	
	ミカンハモグリガ	幼虫寄生葉率 (%)	0.20	0.45	1.20	

トラップ月間誘殺数 (8月) * 種類別の単位の違いに注意

区分	調査害虫名	トラップ設置場所	誘殺数			備 考
			本年値	平年値	前年値	
水稲予察灯	ニカメイガ	千葉	200.3	5.5	-	頭/月
		香取	18.4	18.3	0.0	
		安房	147.1	2.8	15.5	
	イネクロカメムシ	千葉	49.4	170.0	-	
		香取	38.7	10.5	28.1	
		安房	205.2	105.7	280.6	
	クモヘリカメムシ	千葉	16.5	21.9	-	
		香取	12.6	11.2	13.5	
		安房	25.2	39.2	91.0	
	ホソハリカメムシ	千葉	1.0	0.8	-	
		香取	6.8	2.5	6.8	
		安房	5.8	4.1	10.6	
	シラホシカメムシ類	千葉	1.0	-	-	
		香取	0.0	-	0.0	
		安房	1.0	-	1.0	
	イネカメムシ	千葉	406.5	120.4	-	
		香取	382.3	82.2	424.8	
		安房	230.3	123.1	1080.0	
	ミナミアオカメムシ	千葉	85.2	18.9	-	
		香取	2.9	0.6	4.8	
		安房	137.4	106.5	189.7	
	アカヒゲホソミドリカスミカメ	千葉	0.0	13.3	-	
		香取	19.4	8.1	4.8	
		安房	18.4	38.2	189.7	
	アカスジカスミカメ	千葉	91.9	171.6	-	
		香取	17.4	21.0	25.2	
		安房	93.9	220.5	198.4	
果樹予察灯	チャバネアオカメムシ	安房	8.7	15.8	25.2	頭/月
	クサギカメムシ	〃	18.4	24.5	25.2	
	ツヤアオカメムシ	〃	0.0	4.7	8.7	
性フェロモン	ドウガネブイブイ	印旛、香取	1.85	1.86	0.27	頭/日
	ヒメコガネ	印旛、香取	3.44	13.39	2.33	
	コナガ	海匝	0.10	0.28	0.07	
	ハスモンヨトウ	県内全域	15.36	11.87	16.33	
	シロイチモジヨトウ	県内全域	7.20	2.31	7.15	
	オオタバコガ	県内全域	4.10	2.92	5.17	
	タバコガ	県内全域	1.79	1.19	1.91	
	ナシヒメシンクイ	東葛飾、印旛	0.84	1.28	2.02	
	モモシンクイガ	東葛飾、印旛	0.00	0.01	0.04	
	チャハマキ	東葛飾、印旛	0.02	0.10	0.07	
	チャノコカクモンハマキ	東葛飾、印旛	0.66	0.46	0.45	
チャバネアオカメムシ集合フェロモン	チャバネアオカメムシ	県内全域	1.50	6.83	28.12	頭/日
	ツヤアオカメムシ	県内全域	0.06	0.08	0.44	
	クサギカメムシ	県内全域	0.02	0.11	0.63	
	マルボシヒラタヤドリバエ (天敵)	県内全域	0.07	0.11	0.24	

○気象予報

9月18日気象庁発表

関東甲信地方における向こう1か月間の確率(%)

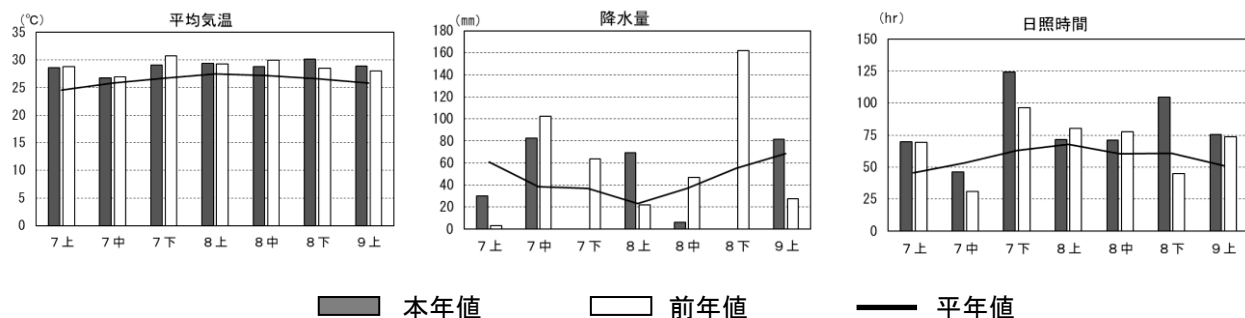
要素	低い・少ない	平年並	高い・多い
気温	10	10	80
降水量	30	30	40
日照時間	30	30	40

出典：気象庁ホームページ

向こう1か月間の各気象要素の平年値

(9月20日～10月19日)

要素	千葉	銚子	館山
気温(°C)	20.5	20.7	20.5
降水量(mm)	231.6	274.8	255.1
日照時間(hr)	120.5	133.0	129.6



農薬は適正に使用しましょう。無登録農薬の使用はできません。

- 農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍数、収穫前使用日数、総使用回数などが定められています。
- 登録番号のない薬剤は、農薬として使用できません。登録農薬には必ず登録番号が記載されています(記載例 農林水産省登録第〇〇〇号)。
- 農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう。
- 飛散しないよう工夫して散布しましょう。
- 農薬を使用したら必ず記帳するようにしましょう。
- タンクやホースは洗いもれがないようきれいに洗っておきましょう。

- ・ 病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>

- ・ 次回の発行予定は10月16日です。
なお、注意報等の臨時情報は逐次発行されます。

- ・ 県内で栽培される主要な農作物に発生する病害虫や雑草を
防除するための指針が千葉県HPで公開されています。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/annou/shokubo/bojoshishin.html>

- ・ 薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。

<https://pesticide.maff.go.jp/>

問合せ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp

